

信州山学マイスター 養成プログラム

受講者
募集

定員 50名

全5回講座日程（各日とも金曜日）

8/22、29、9/5、12、19

15:00～16:30・Zoom配信

信州は日本の屋根といわれる多くの山々を擁し、松本市は山岳の都「岳都」と呼ばれています。本プログラムでは、信州の山岳について、自然環境、観光、健康・スポーツ、文化、防災、交通、産業など多様な視点から理解を深め、地域の魅力を再認識し、地域の未来像を考える機会を提供することを目的としています。

対象 社会人または在学生

受講料 全5回で1万円（在学生無料）

本講座3回以上の参加者には「信州山学マイスター」の修了証を授与します

<講師>

手塚 友恵氏（公益社団法人日本山岳ガイド協会 理事／公益財団法人全国山の日協議会 理事）

原山 智氏（国立大学法人信州大学理学部 名誉教授 特任教授）、

中村 浩志氏（一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所 代表理事）、

入江さやか氏（松本大学観光ホスピタリティ学科 教授）、

吉田 陽平氏（松本大学スポーツ健康学科 専任講師）

学校法人松商学園

松本大学・松商短大

〒390-1295 松本市新村2095-1 TEL. 0263-48-7200



外部講師の紹介



信州山学マイスター養成プログラムコーディネーター
公益社団法人日本山岳ガイド協会 理事
公益財団法人全国山の日協議会 理事

手塚 友恵氏

中学時代から自転車による旅行を通じて自然に親しみ、大学時代は自転車でキャンプをしながら日本各地、北米大陸を周遊し、行く先々で山登り。

2001年、日本山岳ガイド連盟（現・公益社団法人日本山岳ガイド協会）の認定ガイドとなり、総務委員、試験委員、公益事業委員長、財務委員長を歴任し、2010年より「百万人の山と自然安全のための知識と技術 公開講座」の全国展開、公益社団法人化、2012年からは国民の祝日「山の日」制定運動を担当。

現在は、公益財団法人全国山の日協議会で理事 事務局長を務めるほか、第2回以降の「山の日」全国大会の運営委員長を歴任し、国民の祝日「山の日」の趣旨浸透活動に取り組む一方で、日本山岳ガイド協会の財務担当理事、筑波大学山岳科学センター非常勤講師に就いている。



信州大学 理学部 特任教授

原山 智氏

長野県出身で高校時代から登山に親しみ、東京教育大学、京都大学大学院で地質学鉱物学を専攻。通商産業省工業技術院地質調査所で、中部山岳地域の槍ヶ岳、立山、乗鞍岳、上高地、松本、富山等の地質図幅を編纂し、多くの研究者、教員、地学愛好家、登山者等に活用されている。北アルプスの成り立ちに関する研究と山岳関係者への教育普及活動が評価され、日本山岳会（東京）令和5年度の「秩父宮記念山岳賞」を受賞。



一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所 代表理事

中村 浩志氏

1947年長野県生まれ。信州大学教育学部卒、京都大学理学部博士課程修了。理学博士。1980年信州大学助手、1992年同大学教授。2012年同大学退職、名誉教授。日本鳥学会元会長。2015年～現在、一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所代表理事。専門は鳥類生態学。